

一般質問

3月15日、18日から20日、22日の5日間にわたり、31名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをいただきました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかります。

未来志向の柔軟な政策を求める



村まつ俊孝(公明党)

子育て・介護支援の観点から、市で3世代同居・近居支援を行うべきと考えるがどうか。

都市づくり部長

自治体としての体力維持のためにも、定住促進、特に若年層や子育て層をいかに市内に呼び込めるかは、重要な課題です。

建設率・容積率など、都市計画の側面からの措置は、都市づくり部長 快適な多



星だいつけ(自由民主党)

野津田公園へのアクセスと新規道路について問う。

文化スポーツ振興部長

少

し離れた場所に駐車場を確保して渋滞緩和につなげ、あわせて、車での来場を抑制するため、バスの輸送力を高めることにより、公共交通機関の利便性を向上させていきます。

道路部長 芝溝街道側からは高低差や、駐車場用地の確保など多くの課題があります。



鶴川駅再整備 農業支援策充実

森本せいや(まちだ市民クラブ)

鶴川駅南北再整備に際し、人の回遊性を確保し東西に分散されぬ様努力されたい。

都市整備担当部長 地元の皆様、駅利用者、小田急電鉄とともに、駅周辺の活用方法なども検討して、東西の分断がない形にしていきたい。

災害時要援者(高齢者、障がい者等)名簿を改善し、安否確認・支援が漏れぬ様関係機関と連携すべきだ。

地域福祉部長 名簿に施設利用情報を掲載できれば、要支援者の状況を名簿から把握することが出来ます。システム改修に取り組んでいます。

特定生産緑地制度等、町田市農業は岐路に立つ。農業従事者の方への支援策は、農業委員会会長 新たな制度活用について、トラブルが発生しないよう、あらゆる機会を利用して、農業者にしつかりと周知をしていきたい。



ふれあい館の利改めを求めたい

佐々木智子(日本共産党)

高齢者福祉センター(ふれあい館)の利用状況と改善への課題は何か。

学校教育部長 入学前に支給した件数は小学校で280件、中学校で423件です。要保護者への卒業アルバム代は国庫補助となる予定です。

いいき生活部長 くぬぎ館の1日平均利用人数は183人。利用者送迎バスは4月から新ルートです。風呂は施設改修時に廃止し、介護予防スペースにする方針です。

就学援助制度の入学準備金入学前支給の状況と、卒業アルバム代など援助費目のいくことにしています。



外国人就労拡大

おさむら敏明(自由民主党)

日本の慣習を身につけていただく教室の開設など、外国人を雇用する市内事業者には、届け出を義務づけるように指導すべきだが。

文化スポーツ振興部長 町田国際交流センターでは、外国人と日本人が交流するイベントなどを実施し、日本文化を紹介しています。

人の雇用に関することを議題として提案し、関係機関と情報共有を図っていきたい。

南町田グランベリーパークまちなぎらきに向け交通渋滞が予想される。町田駅間の増便、成瀬駅へ路線開設など公共交通機関の拡大を求める。木島副市長 パークを訪れる方にとって便利で、また、できる限り近隣にご迷惑とならないよう、あらゆる工夫をしていきたいと考えています。



おんじよう由久(公明党)

「公共工事の平準化」について、市の取り組みは。

財務部長 建設事業は年度の上半期発注率を70%とすることを庁内に通知し、早期の事業着手を促しています。

認知症の方が安心して外出できるための強化策は。いきいき生活部長 民間事業者との見守りに関する協定、緊急時に親族等に連絡できる高齢者あんしんキーホルダー話を始めるところです。



南町田とつながる路線バス拡充

事業などを、一層強化します。グラランベリーパークまちなぎらきを好機に路線バス拡充が必要。検討進捗状況は。

都市づくり部長 南町田駅と成瀬駅間の路線新設は、事業者に働きかけを行っていますが、運転士不足などの理由から実現には至っていません。働きかけを続けるとともに、南町田を中心とした南地区の交通ネットワークについても話を始めるところです。



地元が楽しくリビングに

おげき重太郎(保守の会)

競技開催に向けた準備状況と今後の進め方は。

木島副市長

7月21日にテ

ストイベントとして男子自転車ロードレースが開催されます。昨年6月と1月との2回、町内会・自治会、商工団体など地元への説明をしました。

機運醸成のために必要な地元への説明やPRのスケジュールは。

文化スポーツ振興部長 オ



南地区限定のプラスチックの回収

吉田つとむ(保守の会)

町田市において南地区に限定される、容器包装プラスチックの分別回収の全域化はどのようなスケジュールで達成されるのか。

循環型施設建設担当部長

容器包装プラスチックの資源化を含む資源ごみ処理施設の整備は、既存計画のとおり、分散化は変更せず、相原地区は25年度、上小山田地区は27年度を新たな目標年度として、廃止する予定はありません。



安心して住み続ける町田を

細野龍子(日本共産党)

同じ所得でも協会けんぽに比べて国民健康保険税は高いが、見解を問う。

いきいき生活部長 15年の実績値として、平均年齢は15歳ほどの開きがあり、事業主も保険料を負担していることなど、保険料だけを比較はできないと認識しています。

子どもの医療費無償化拡充のために、自己負担と所得制限撤廃にいく必要があります。

子ども生活部長 所得制限撤廃に、財政では約1億8千万円の負担増となり、2百万円の自己負担も撤廃した場合は、2億5千万円増となります。

南町田拠点創出事業で撤退した電気店の跡地活用は、都市づくり部長 駐車場として活用する必要も想定され、当面の間、パークへの来場状況の推移を見守り、銀河歩道橋からのアクセス改善を念頭に置いて、検討を続けます。



町田市の花粉症対策について

深沢ひろふみ(保守の会)

東京都によると都内の2人に1人は花粉症との報告がある。町田市では2010年、2011年に山林事業で花粉症対策に有用であると

してスギ・ヒノキの本数の30%以上を間伐した。その後2014年に成立したアレルギ

1疾患対策基本法を受けて市は花粉症対策を行ったか。保健所長 花粉症の方が花粉の飛散状況に応じて適切な



町田市の花粉症対策について

対策がとれるよう、都の飛散花粉数調査に協力しデータを提供しています。都ホームページでは、都内のその他の地域の飛散状況もごらんいただけます。保健所で作成した「みんなの健康ハンドブック」や、都が作成した幅広い内容のパンフレット「花粉症一口メモ」を保健所、各市民センター等で配布し、症状を軽減させるための生活方法や治療についても情報提供しています。